



“私の挑戦”

ビジネスプラン誕生の裏側
受賞企業紹介

第4回 チャレンジ部門 優秀賞 受賞

「寄り添いのデジタル化」で 糖尿病患者さんの足切断“ゼロ”を目指す

「まさか、自分が足を切断されるなんて」。これは、臨床工学技士として人工透析の現場で20年近く働く中で、何度も耳にした言葉です。

糖尿病による足切断リスクは広く知られていますが、現実味を感じていない患者さんは多くいらっしゃいます。実際に足切断に至る患者さんは後を絶たず、さらに切断後の5年死亡率7割という厳しい現実もあります。

医療従事者として、足切断を“ゼロ”にしたい。この強い想いから生まれたのが、「次世代糖尿病フットケアソリューション『Steplife』」です。Steplifeは、患者教育用VRコンテンツとフットケア管理アプリで構成するサービスです。

VRコンテンツは、患者さん自身の足が切断された場面から始まり、時間を遡るように糖尿病の進行を体験するもので、足切断の深刻さをリアルに実感できます。一方、フットケア管理アプリは、撮影した足の

データを医療従事者と共有、状態把握をサポートします。

糖尿病の進行による神経・血管障害は、小さな傷でも壊死につながる危険性があり、こまめなケアと観察が欠かせません。糖尿病足病変の早期発見を支援するアプリは、簡単に記録ができると患者さんから好評を得ており、今後はサブスクリプション形式で病院やサロンに提供していきます。

2021年時点で、世界の糖尿病患者数は5億人を超え、ASEAN地域ではさらに急増しています。そして、毎年少なくとも100万人が足を切断しているという現実があります。Steplifeを必要とする患者さんのために、まずはマレーシアを拠点にASEAN地域への展開を目指します。

👑 ビジネスプランの詳細はこちら



(左) フットケア管理アプリ
(右) 糖尿病患者教育用のVRゴーグル



代表取締役
石田 幸広

株式会社セカンドハート

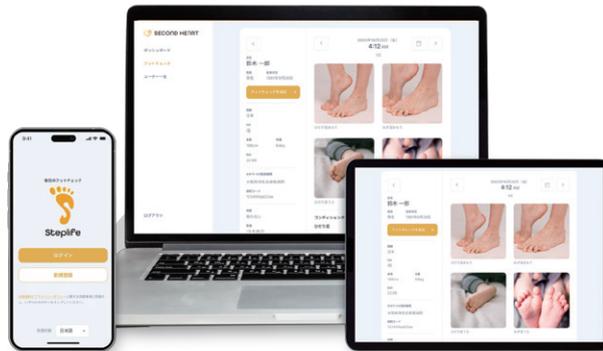
京都府長岡京市勝竜寺巡り原22-9
☎ 080-4019-8587
<https://www.secondheart.co.jp/>

プロフィール

2004年広島国際大学保健医療学部臨床工学科卒業。2004年から現在まで、人工透析を専門に医療機器安全管理責任者等に従事。また2019年から2023年まで日本臨床工学技士連盟の事務局長を務める。2019年に医療機器開発コンサル業として石田プロダクション合同会社を創業。2023年に株式会社セカンドハートに組織変更し、医療ヘルスケア機器開発を行うほか、大阪府済生会泉尾病院のME科、人工透析・医工連携を担当。

プラン名

“Steplife” 次世代糖尿病フットケアソリューション



同社が展開する“Steplife”の認知度向上に向けた広報を中心に、他の支援機関とも連携しプランの実現に向けてサポートします。

京商の支援

